

Table with 4 main rows: 事務事業名 (養護老人ホーム入所支援事業), 政策名 (III)地域で支えあうくらしづくり《保健・医療・福祉》, 施策名 (18)高齢者福祉の充実, 基本事業名 (052)自立支援とサービスの充実. Includes columns for 所属部 (健康福祉部), 所属課 (長寿障がい福祉課), 課長名 (中島 豊), 電話番号 (0854-40-1042), 担当名 (白築 香), 予算科目 (115351), and 中事業 (老人保護措置事業 扶助費).

1 現状把握の部

(1)事業概要

Table with 3 columns: ①事業期間 (単年度のみ checked), ②事業の内容 (老人福祉法の規定に基づき、環境上及び経済的事情により居宅において養護を受けることが困難な高齢者を養護老人ホームへ措置し自立生活を支援する), ③開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?) (老人福祉法の規定に基づき行っている措置事業).

(2)トータルコスト

Table showing costs and personnel. Includes ①事業費の内訳 (概要) with items like 養護老人ホームの老人保護措置費 (扶助費) 110名 206,448千円. Includes ②延べ業務時間の内訳 (業務の流れ等) with personnel and time data. Includes a summary table for トータルコスト(A)+(B) with values for 21-25 years and total plan.

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

Table for ① 主な活動 (手段) and ⑤ 活動指標. Activity includes 23年度実績 and 24年度計画. Indicators include 措置人数 (43) and 措置費 (80,121千円).

Table for ② 対象 (誰、何を対象にしているのか) and ⑥ 対象指標 (待機者数: 40), ③ 意図 (対象がどのような状態になるのか) and ⑦ 成果指標 (待機から入所になった人: 13), ④ 結果 (どんな上位目的に結び付けるのか) and ⑧ 上位成果指標 (いきいきと暮らしている高齢者の割合: 65.1%).

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

Table with 3 columns: ① 事務事業を取り巻く状況 (対象者や根拠法令等)はどうか? (平成22年度から宇寿荘の設置者が市から法人に移管し、宇寿荘に係る措置費についても、これまでの指定管理事業から移行した。), ② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯 (特になし), ③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? (特になし).

事務事業名	養護老人ホーム入所支援事業	所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
-------	---------------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 高齢者の自立生活を支援する事業である。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 法令に基づく事務である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 老人福祉法に基づき措置を行っている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 法令で定められた事務である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 措置が必要な方の救済ができなくなる。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 老人福祉法に基づく事務である。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 措置費は老人福祉法や市の規定により負担能力に応じて定めた額となっており削減はできない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 法令で定められた事務である。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 受益者は特定な方となるが、支払能力に応じ適正な額の負担をさせていただいている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	生活環境や経済的な理由により自宅で自立した生活を送ることが困難な高齢者について施設入所の措置をすることにより、高齢者が安心して生活するための大きな役割を果たしている。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
なし																							